

# 少人数大会初出場へ

高雲東山 3年部員引退“残留”  
部奏楽部 吹

篠山東雲高校吹奏楽部(6人)が、26日に三田市総合文化センター郷の音ホールで開かれる「第49回兵庫県アンサンブルコンテスト西阪神地区大会」(高校部門・27校出場)に初出場する。3年生部員2人は卒業後に向けて忙しくなる時期ながら「残留」し、コンテストに臨む。部長の

さん(3年・篠山東中



さん(左端)から指導を受け、練習する部員たち=丹波篠山市福住で

出身)は「初心者からでも上達でき、部員みんな仲が良い。楽しく続けられてきた」とほほ笑み、最後の舞台に向け「結果を気にせず、楽しみながら演奏したい」と意気込んでいる。

コンテストは3〜8人の少人数編成で、5分程度の演奏を披露する。同部は、アルトサクソフーン、バリトンサクソフーン、ホルン、タンバリン、シンバル、ドラムセットで編成。7月に出場した県

吹奏楽コンクール西阪神地区大会でも演奏し、慣れ親しんでいる曲「春の扉」(山下祐加作曲)を披露する。

部員の中には高校から吹奏楽を始めた初心者もあり、3年生の2人が残ること。7月の大会よりレベルを落とさず同コンテストに挑戦することが可能となった。農業高校のため、放課後や休日に野菜や動物の世話をする農場当番に当たる日もある。全員で集まれる日が少ない中、限られた時間で互いに教え合いながら練習に取り組んできた。

10日には、顧問の教諭とつながりのあった、マリimba奏者のさんが演奏を指導。さんは、日本を代表するマリimba奏者、さんに師事している。さんは、部員

に対し、「出だしの音ほど息を出し、強く吹いて」「失敗を恐れず、自信を持って」と語り掛け、信じていた。さんは「今までは音がぶちっと切れがちだったけれど、小松さんのアドバイスのおかげで流れるような音楽になった」と手応えを感じ

ていた。同部は2017年度に「音楽同好会」として始動。19年春から「吹奏楽部」になった。地域では、ビートルズをもじった「BEANとるず」というバンド名で活動しており、敬老会などの行事にも出演している。

丹波新聞  
2021年12月23日